

《担当者名》看護福祉学部

准教授/明野 伸次 助教/横川 亜希子 新見 千穂 米川 弘樹 山口 夕貴
 教授/三国 久美 准教授/木浪 智佳子 助教/川崎 ゆかり 谷本 真唯
 教授/竹生 礼子

【概要】

本講の目的は、対象者の健康の回復・維持に必要な知識と技術を理解することである。講義や演習を通して、様々な健康レベル・発達段階の対象者（地域住民、疾患・障害をもつ人、母子）の生活（食事、排泄、睡眠と活動など）を支援するために必要な基礎的知識と技術を学び、多職種が協働する場における歯科衛生士に期待される役割を考える。

【学修目標】

1. 人々の健康生活をめざす看護実践のあり方と歯科衛生士の役割・機能を比較し、その共通性を説明できる。
2. バイタルサインズ測定の実際を経験し、対象者の健康状態を捉える方法の基本的事項を説明できる。
3. こどもの特徴とケアの方法を学び、こどもの健康を理解する多様な視点について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	看護学の基本概念	看護学の基本概念と看護職の役割	明野 伸次
2	看護学の基本概念	看護実践のあり方と歯科衛生士との違いおよび共通性	明野 伸次
3	生命の営みを支える日常生活行動の理解	生命の営みを支える日常生活行動 動く/食べる	明野 伸次
4	生命の営みを支える日常生活行動の理解	生命の営みを支える日常生活行動 排泄する/清潔	明野 伸次
5	対象者の健康状態を捉える方法	バイタルサインズとは 体温、脈拍、呼吸、血圧、意識状態	明野 伸次
6	対象者の健康状態を捉える方法	バイタルサインズの測定 (技術演習)	明野 伸次 横川 亜希子 新見 千穂 米川 弘樹 山口 夕貴
7	小児看護の実際	子どもの発達と看護	三国 久美
8	小児看護の実際	子どもの権利を尊重した看護	三国 久美
9	小児看護の実際	こどもの成長と日常生活に関する看護	木浪 智佳子
10	小児看護の実際	こどもの成長と日常生活に関する看護	木浪 智佳子
11	小児看護の実際	小児看護の基本となる技術：乳児の抱っことおむつ交換 (技術演習)	三国 久美 木浪 智佳子 川崎 ゆかり 谷本 真唯
12	小児看護の実際	小児看護の基本となる技術：こどもの身体測定 (技術演習)	三国 久美 木浪 智佳子 川崎 ゆかり 谷本 真唯
13	在宅看護の実際	在宅で療養する人々の理解	竹生 礼子
14	在宅看護の実際	在宅で療養する人々に対する看護	竹生 礼子
15	地域包括ケア	地域包括ケアの考え方	竹生 礼子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

小テスト・提出課題100%

小テスト：第5回（20点）

提出課題：第2回（10点）、第6回（10点）、第7～12回（40点）第13～15回（20点）

【教科書】

全国私立歯科大学・歯学部付属病院看護部長会編 「歯科衛生士のための看護学大意（第3版）」医歯薬出版 2012年

【参考書】

1．V．ヘンダーソン著 湯楨ます他訳「看護の基本となるもの」再新装版 日本看護協会出版会 2016年

2．菱沼典子著「看護形態機能学」日本看護協会出版会 2007年

【学修の準備】

1．授業の進行にそって、事前に教科書「歯科衛生士のための看護学大意」の各章を熟読する。（120分）

2．授業で配布される資料はファイルにまとめ復習をし、いつでも活用できるように携帯する。（120分）

3．指定の授業終了時に「ミニレポート」あるいは「小テスト」を実施するので、必ず予習・復習を行い、授業に臨む。

【実務経験】

明野 伸次（看護師）、横川 亜希子（看護師）、新見 千穂（看護師）、米川 弘樹（看護師）、山口 夕貴（看護師）、三国 久美（保健師）、木浪 智佳子（看護師）、川崎ゆかり（看護師）、谷本 真唯（看護師）、竹生 礼子（看護師）、

【実務経験を活かした教育内容】

・病院での看護師、保健師としての実務経験を活かし実践的教育を行う